

大震災・復興ニュース（第13報）

平成23年7月15日
仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況（国及び県全体の動き）

宮城県震災復興計画（案）県民説明会について

「宮城県震災復興計画」の策定に当たり、広く県民の声を反映させるため、県民説明会が開催されます。管内では、7月16日（土）10時から、仙台地区（広域仙台都市圏）として名取市商工会館を会場に開催される予定。

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

宮城県内で採取した水産物について、下記のとおり東北大学の協力を得て放射性物質の測定をしたので、その結果をお知らせします。

- 1 測定年月日 平成23年7月11～13日
- 2 測定分析機関 東北大学（東北大学への協力依頼による）
- 3 測定結果 国が定めた暫定規制値を下回り、安全性に問題がないことが確認された。

放射性物質の値は採取日における値を示す。

水産物（採取日 平成23年7月7～11日）

（単位：ベクレル/kg）

種別	採取場所	放射性ヨウ素	放射性セシウム
ヒラメ	仙台湾	不検出	不検出
マコガレイ	仙台湾	不検出	4
カタクチイワシ	仙台湾	不検出	1.2
カツオ	太平洋（茨城沖）	不検出	2
マダラ	志津川沖	不検出	1.2
アユ	鳴瀬川（加美町）	不検出	3.7

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性ヨウ素の暫定規制値 2,000 ベクレル/kg

食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性セシウムの暫定規制値 500 ベクレル/kg

2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

災害復興に向けた第二回打ち合わせ会開催

- ・7月20日（水）午後1時30分より、仙台地方振興事務所水産漁港部会議室において、管内漁協各支所長等を集めて復興に向けた現状と対応についての打ち合わせ会を開催予定。

管理漁港及び漁場の啓開(けいかい)作業状況

- ・県管理漁港の航路・泊地内の漁具や沈没した船舶・自動車等支障物の撤去作業は、7月9日ですべて作業終了。
- ・漁場の啓開作業は、5月23日から松島湾で着手し、潮位の関係から七ヶ浜沖と並行して2台の起重機船で引き続き作業を行っている。

バックホウ台船は、6月14日から松島湾の東名地区で引き続き作業を行っている。

また、仙台湾漁場へは6月28日から起重機船にて支障物撤去作業に着手した。

水陸両用バックホウについては、組み立て作業を終了し、7月6日から松島湾内の撤去作業に着手している。

仙台湾の測量作業はすべて終了。

漁港の応急復旧状況

- ・荒浜漁港の海岸堤防の応急工事については、阿武隈川河口から南側約900m区間の1次応急工事作業は完了し、2次応急工事に着手。



荒浜漁港海岸（堤防）2次応急工事施工状況

- ・荒浜漁港南導流堤基部の決壊箇所の閉塞工事については、現在、吉田排水機場から北側に仮設道路工事を施工中で全体約500m区間の1次応急工事作業は全区間終了し、2次応急工事に着手。



荒浜漁港海岸（南導流堤）1次応急工事完了状況

- ・磯崎漁港長田地区の臨港道路の舗装補修等については、7月8日で作業終了。

災害査定の実施状況

- ・一次査定が7月19日から始まります。
- ・申請箇所は、塩釜漁港で6箇所、桂島漁港で2箇所、計8箇所の予定。

<トピックス>

カキの採苗

県水産技術総合センターと漁協各支所青年部等が実施している種ガキ浮遊幼生調査において、今週初めの調査の結果、松島湾でも250 μ m以上の大型幼生が多く確認されたため、宮戸西部、浦戸、浦戸東部等で採苗のための原盤投入が始まっている。

松島湾において7月中旬の大型幼生確認は、例年より早い傾向にあり、今後の付着が期待される。



朴島での原盤投入準備